

経理・税務



●定額減税の実施

納税者とその同一生計配偶者および扶養親族1人につき、所得税額3万円と個人住民税額1万円が控除されます。6月から減税事務が始まるので、控除の方法を確認しておきましょう。

32ページでは、定額減税事務のFAQを解説しています。

●2024年度・個人住民税の特別徴収の取扱い

個人住民税の定額減税対象者からは、6月分は特別徴収せず、各社員の実住地の市区町村から通知された年税額・月割税額に基づいて、2024年7月から2025年5月の11か月に分けて徴収・納付します。納付期限は徴収した月の翌月10日です。

ただし、「労働者が常時10名未満の事業所」は、特別徴収住民税、源泉所得税ともに、所轄税務署・市区町村の承認を受けることで、半年分ずつ、年2回にまとめて納付できる特例があります。このうち、特別徴収住民税の2023年12月～2024年5月徴収分は、6月10日が納付期限です。

●売掛金の回収強化

円滑な資金繰りのためにも、売掛金の管理・回収が重要です。物価・資源高など厳しい経営環境が続くなか、ますます債権管理が重要となります。

自社の保有する売掛金について、
・予定どおり入金されているか
・不良化の危険がある売掛金はないか
・不良化の危険がある場合、その対策をどのように行なうか

など、営業担当者の意見も聞きつつ、入念に確認・検討しましょう。

●夏物商戦の資金対策

これから夏にかけての夏物商戦の本格化に伴い、商品の仕入増加、販売員や配送要員の臨時雇用など、平常月とは異なる資金需要が発生します。

あらかじめ、必要資金の額と時期を確認し、自己資金で賄えるかどうかを検討しましょう。取引金融機関からの運転資金の借入が必要であれば、早めに、その旨を打診しておきます。

人事・労務



●健保・厚年の被保険者報酬月額変更届の提出要否のチェック

被保険者の報酬が、昇（降）給等の

固定的賃金の変動に伴って大幅に変わったときは、定時決定を待たずに標準報酬月額を改定します。これを「随時改定」といいます。

新年度に入ってから定期昇給やベースアップ、または賃下げを行なった企業では、6月の給与支払い後、健康保険・厚生年金保険の被保険者報酬月額変更届の提出が必要か確認します。

健康保険の最高等級に達する人や新入社員を除いて、次の3つの要件のすべてに該当する人が提出対象です。

① 昇給または降給があり、固定的賃金（基本給・役付手当・技術手当・住宅手当・家族手当・勤務地手当など）に変動があったこと

② 固定的賃金の変動した月から3か月間連続して、報酬の支払基礎日数が17日以上あること

③ 該当する3か月間の報酬の平均月額が、従前の標準報酬月額と比べて2等級以上の差があること

月額変更届は、7月中に所轄の年金事務所（あるいは健康保険組合）に提出し、8月に支払う給与から改定後の新保険料による徴収を開始します。

なお、7月に入ると、すぐに報酬月額算定基礎届の提出事務（7月10日が期限）がありますから、早めに準備に取りかかりましょう。

6 June 月の事務ごよみ

●夏季賞与額の決定と支給

一般企業の場合、夏季賞与の支給日は6月から7月にかけて設定しているところが大半のようです。

夏季賞与を支給する企業では、必要な資料をそろえ、支給原資の検討や各人の考課・査定を進めてつつがなく支給ができるように準備しましょう。

52[※]では、直近の景気指標などを踏まえて、中小企業の今夏賞与の支給相場を予測しています。賞与支給額の検討材料としてください。

●労働保険の年度更新手続き

労働保険の保険料は、毎年4月1日から翌年の3月31日までの1年間（保険年度）を単位として、すべての労働者（雇用保険については被保険者）に支払われる賃金の総額に、その事業ごとに定められた保険料率を乗じて算定されます。

そのため、事業主は、前年度の確定保険料の精算と新年度の概算保険料を納付するための申告・納付の手続きが必要となります。これを労働保険の「年度更新」といいます。2024年度は、6月3日から受付が始まります。最終期限は7月10日ですが、6月中には目処をつけておきましょう。

●賞与からの健保・厚年の保険料控除

6月に賞与を支給した事業所では、

賞与から本人負担分の健康保険と厚生年金保険の保険料（40歳以上は介護保険料も）を控除します。

また、賞与等の支給に際して「被保険者賞与支払届」を作成し、支給日から5日以内に、所轄の年金事務所（あるいは健康保険組合）に提出する必要があります。賞与に係る保険料は、被保険者負担分と会社負担分とを合わせて、納入告知書に従って、支給月の翌月末までに納付します。

●新入社員の手続き

長期雇用を前提に社員を採用する際には、適性判断のため、3か月程度の試用期間を定めている企業が多いでしょう。4月入社の新入社員の場合は、7月から正式採用となります。

正式採用にあたって、フォローアップ研修や、社長や役員との面談などを考えたい時期です。離職を防ぐためにも丁寧にフォローしましょう。

●来春新卒予定者の採用活動

学生は、ほぼ半数が大手企業を志望しているといわれており、中小企業にとっては人材確保が厳しい状況が続いています。大手企業の動きを把握したうえで、自社の採用活動を戦略的・計画的に進める必要があるでしょう。秋採用にも力を入れるといった、選考期間の調整などの柔軟な対応が求められます。

ます。

来春の中学・高校卒業予定者に対する求人票の受付も始まります。所轄のハローワークで日程などを確認し、早めに採用準備に入りましょう。

●高齢者雇用状況報告書・障害者雇用状況報告書の提出

これらは毎年6月1日現在の高齢者、障害者の雇用状況（役員・兼務役員を除く）を報告するものです。

いずれも、ハローワーク等に対して2024年は7月16日までに提出（郵送または電子申請）します。

電子申請では、電子署名不要のGビズIDプライム、または有料の電子署名を利用するe-Govアカウント経由等で申請することが可能です。詳しくは、厚生労働省のホームページ等で確認してください。

●外国人労働者の雇用等への取り組み

厚生労働省は、例年6月を「外国人労働者問題啓発月間」とし、外国人労働者の就労環境の改善等に取り組んでいます。外国人労働者は、派遣や請負の就労形態での雇用が多く、なかには労働・社会保険関係法令等が守られていないケースもあります。

外国人を雇用する企業は、この機会に、自社の就労条件等について確認しておきましょう。

総務・法務



●定時株主総会の登記事項のチェック

6月（または5月）は、3月決算法人の定時株主総会の開催時期です。

増資や取締役の変更（任期満了に伴う再任も含む）など法定登記事項に異動があった場合には、速やかに変更登記を行ないます。また、住所変更や婚姻による氏名変更など、登記簿に記載された事項に変更が生じた場合にも、変更登記が必要です。

●業界団体等の総会への参加

この時期は商工会、法人会など各種業界団体の総会シーズンです。それぞれの日程をチェックして、出席するか否かを判断しましょう。

●梅雨どきの各種対策

6月になると雨の日が多くなり、湿度や気温も高くなりますから、次のような点に気を配りましょう。

- ・浸水などの災害対策、湿気・雨漏りなどによる不良在庫の発生防止
- ・降雨等による自動車事故の防止
- ・郵便物等の水漏れ防止
- ・食中毒の防止や健康・衛生面の管理強化

職場環境については、労働安全衛生規則606条で「事業者は、暑熱、寒冷または多湿の屋内作業場で、有害のおそれがあるものについては、冷房、暖房、通風等適当な温湿度調節の措置を講じなければならない」と規定されています。

これからの季節は、室内にいても熱中症になることがあります。特に体を動かす工場や、空調を整えにくい施設などではより注意が必要です。

82[※]では、熱中症の対策と応急処置について紹介しています。

●安全対策の検討と見直し

消防庁は、毎年6月の第2週を危険物安全週間と定め、火災発生リスクを回避するための啓発活動を行なっています。

危険物とは、消防法に定められているもので、一般的に次のような危険性を持った物品をいいます。

- ・火災発生の危険性が大きい
- ・火災拡大の危険性が大きい
- ・消火の困難性が高い

私たちの身近なものでは、ガソリン・灯油・油性塗料等があります。

また、例年6月10日～16日は火薬類危害予防週間、6月は全国安全週間（7月1日～7日）の準備期間です。こうした取組みを機に、職場の安全

対策を徹底しましょう。

●中元・暑中見舞状の手配

中元を贈る場合には、6月中に各部署から贈答先名簿の提出を受け、百貨店などに発注します。

暑中見舞状を出す場合は、デザインを決め、挨拶の文言を印刷しておきます。差出先の名簿が整い次第、宛名書きを始めます。

各種紙誌へ暑中見舞広告を掲載する企業は、その手配も進めましょう。

●7月～9月の業務日程の確認

4月に新年度入りした企業は、7月から第2四半期が始まります。四半期ごとの業務日程を確認しましょう。

また、夏季休暇を実施する企業では、社内的な日程調整、取引先等への通知、相手方の夏期休暇の日程確認などを進めます。

82[※]では、7月～9月の主な業務をチェックリストにまとめています。

来月の計画を立てるために

▽全国安全週間が実施されます（7月1日～7日）

▽健康保険・厚生年金保険の被保険者報酬月額算定基礎届の提出事務があります（7月1日～10日まで）

▽労働保険の年度更新手続きの期限です（7月10日まで）

June

6月の事務ごよみ



民族の音楽 コインブラ・ファド

ポルトガル中部の大学都市コインブラには、丘の頂に建つコインブラ大学の男子学生が歌う、コインブラ・ファドがある。男子学生が意中の女性を思って歌うファド

は、リスボンのサウダーデ（郷愁・思慕などを意味する言葉）を表現したファドとは異なる、明るく力強い響きがある。（切絵・文＝前田尋）

◆せっぽとべ

日時：6月2日

場所：鹿児島県日置市

「せっぽとべ」とは、鹿児島弁で精一杯跳べの意味。白装束の若者たちが、田の中で歌い飛び跳ねる、お田植え祭。

◆チャグチャグ馬コ

日時：6月8日

場所：岩手県滝沢市・盛岡市

耕馬に感謝する伝統行事。色鮮やかな装束で着飾った100頭程の馬と馬主が、鬼越倉前神社から盛岡八幡宮までの約14kmを4時間程かけて行進する。

◆糸満ハーレー

日時：6月9日

場所：沖縄県糸満市

旧暦5月4日の「四日の日」（沖縄のこどもの日）に、大漁と航海の安全を祈り、サバニ（漁船）で競漕する。糸満市指定無形民俗文化財。

◆海外ビジネス EXPO2024大阪

日時：6月12日

場所：OMMビル

多くの海外企業が来日し、関西企業が自社を売り込むチャンスとなる。海外ビジネスの最新情報を知ることができる。

◆Interop Tokyo 2024

日時：6月12日～14日

場所：幕張メッセ

国内外から多数の企業・団体が参加。インターネット分野の最新の技術とビジネストレンド満載の展示会。

◆電子機器 トータルソリューション展 2024

日時：6月12日～14日

場所：東京ビッグサイト

最新の電子回路・実装技術や、センサー・ウェアラブル技術等の展示会。世界最高峰の技術に触れるチャンス。



Event guide